

103-250

問題文

この患者が服用している薬剤の中に追加薬剤と併用禁忌のものが2つあるため、処方を追加した医師に疑義照会を行った。併用によって生じる副作用に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. アドレナリン α_2 受容体が過剰に刺激され、著しい血圧低下が現れる。
2. Ca^{2+} チャネルが過剰に阻害され、著しい血圧上昇が現れる。
3. γ -アミノ酪酸GABA_A 受容体が過剰に活性化され、著しい筋弛緩作用が現れる。
4. メラトニン受容体が過剰に刺激され、催眠作用が著しく増強される。
5. HMG-CoA還元酵素が過剰に阻害され、横紋筋融解症の発症リスクが高まる。

解答

問250 : 2, 4問251 : 1, 4

解説

問250

ロラゼパムは Bz 系抗不安薬です。チザニジンは α_2 受容体作動薬です。筋弛緩薬として用います。ラメルテオン（ロゼレム）はメラトニン受容体作動薬です。ニフェジピンは Ca拮抗薬で降圧薬です。プラバスタチンは HMG-CoA還元酵素阻害薬です。

降圧薬を飲んでいるため、今回の処方のチザニジンの作用により血圧低下のおそれがあります。起立性低血圧に注意してもらうために、ゆっくり立ち上がりめまいやふらつきに注意するよう指導します。

また、ロラゼパムを毎食後に飲む処方が初めて出ているため、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので危険を伴う機械の操作を避けるよう指導します。

以上より、問250 の正解は 2,4 です。

問251

チザニジン、及びラメルテオンが、CYP1A2 により代謝されるので、フルボキサミンと併用禁忌です。フルボキサミンにより CYP1A2 が阻害されるためそれぞれの薬効が過剰になることを避けます。

従って、問 251 の正解は 1,4 です。